



2021年12月28日

各位

会社名 元旦ビューティ工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 船木 亮亮
(JASDAQ・コード 5935)
問合せ先 管理本部長 柴田 健二
(TEL. 0466-45-8771)

取締役会の実効性評価の結果概要に関するお知らせ

当社は、「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の機能向上による企業価値の向上を図ることを目的として、取締役会の実効性に関する評価を実施致しましたので、その結果の概要を以下の通りお知らせします。

記

1. 分析・評価の方法

当社は、すべての取締役(5名)及び監査役(3名)に対し、取締役会の実効性について段階評価及びコメントを記載する方式の質問票を配布し、全員の回答の結果の集計・分析を第三者機関に委託し、評価を実施いたしました。

質問票における大項目は以下の通りです。

- 第1 取締役会の構成に関する質問
- 第2 取締役会の運営に関する質問
- 第3 取締役会の議題に関する質問
- 第4 取締役会を支える体制に関する質問
- 第5 取締役会としての株主との対話に関する質問

2. 評価結果の概要

(1) 評価結果の概要

当社は、第三者機関からの報告を踏まえ、現段階で取締役会の実効性についての深刻な不具合はないものの、将来的なリスクとなり得る点があり、早急に改善すべきと結論づけました。

(2) 第三者機関からの指摘事項の概要

第三者機関からの指摘事項の概要は以下の通りです。

① 取締役会の構成について

取締役会の量的な不足はないものの、管理部門を管掌する取締役の不在、女性・外国人取締役等の不在から、社内・社外取締役の質的な拡充が望まれる。

② 取締役会の運営について

取締役会の資料配布が当日となる場合があり、それに起因して、社外取締役・監査役が十分に議論に参加できないまま採決となっている可能性が存在するため、資料が当日配布となった場合は、採決を次回に持ち越す、簡便な資料を事前に配布する等の工夫が必要となる。

③ 取締役会の議題について

日々の具体的な業務に関する議題については、適宜審議されているものの、より俯瞰的な論点からの議題、例えば経営の持続性を担保する観点からの後継者計画等については、現状の経営者が年齢的・健康的な不安要素が少ないことから、議論が不足しており、適宜議題として取り上げる必要がある。

④ 取締役会を支える体制について

取締役会は必要な情報を適時適確に入手できているものの、それぞれの取締役・監査役が必要に応じて各部門に依頼している状況であることから、情報提供窓口を一元化し、部門の負荷軽減・情報提供の効率化を図るべきである。また、各取締役・監査役の経験に照らして、必要な知識を修得する機会を拡充すべきである。

⑤ 取締役会としての株主との対話について

法定開示事項については取締役会の承認のもと、適時適確に開示されているものの、取締役会が株主との対話についてどのような方針で望むかを明らかにするべきである。また、資本政策について、各取締役の間で認識の相違があるため、取締役間で共通の認識を形成し、さらなる企業価値の向上を実現するためには、資金需要等、事業上の要請を踏まえるのみならず、資本コストとの兼ね合い等のより幅広い観点・視点を取り入れた議論を行うことが望まれる。

3. 今後の取り組み

当社取締役会は、本評価結果を踏まえ、取締役会の実効性を高め、より一層充実したコーポレートガバナンス体制を構築してまいります。

以上